

鳥取砂丘と日本の砂丘比較

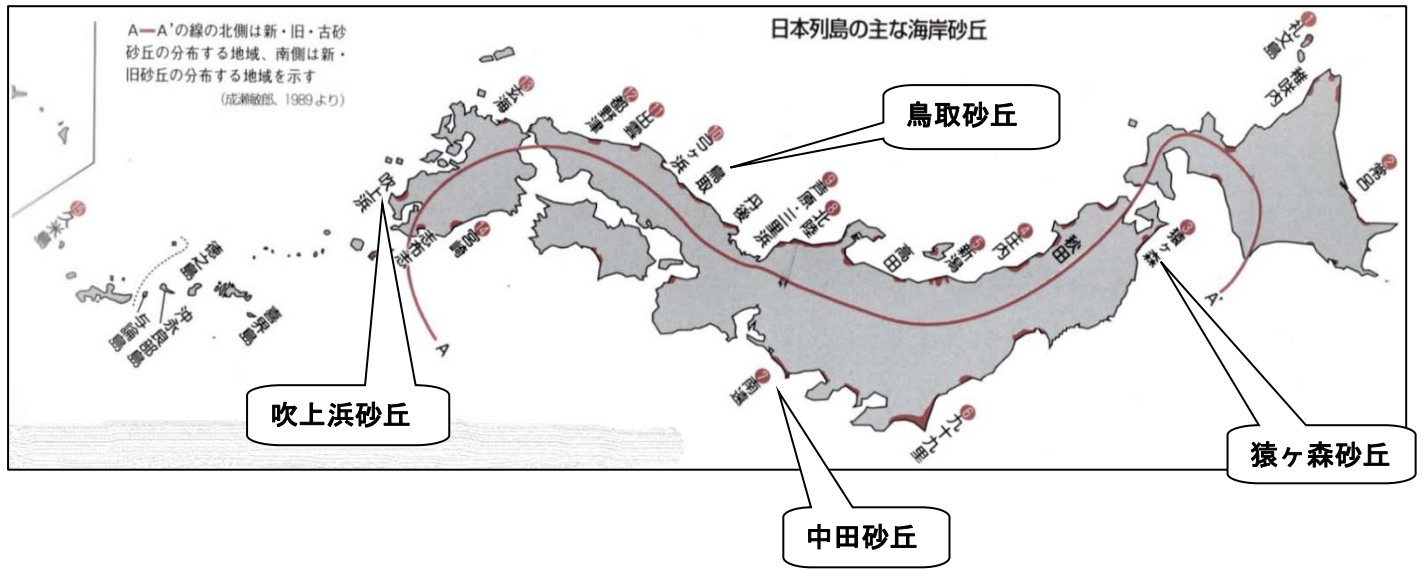
縄文時代 弥生時代 古墳時代 飛鳥時代 奈良時代 平安時代 鎌倉時代 室町時代 江戸時代 明治時代 大正・明治・昭和時代

日本全国の主な砂丘と鳥取砂丘の比較

日本列島には、総延長1900キロメートルもの海岸砂丘が発達しており、これは日本列島の全海岸の約7%に当たるといわれている。

海岸砂丘は、特に日本海側の海岸に多く見られる。

主な海岸砂丘「青森県・猿ヶ森砂丘」「静岡県・中田砂丘」「鳥取砂丘」「鹿児島県・吹上浜砂丘」を比較してみよう。



砂丘の名称	大きさ・面積	風景	特長など
猿ヶ森砂丘 (青森県)	長さ：17 km 幅：1～2 km 面積：1500 ha		砂丘の面積では日本一を誇るが、この砂丘は防衛省の下北弾道試験場（射爆場）として利用されている関係で、一般の人の立ち入りを厳しく禁止している。
中田砂丘 (静岡県)	東西：4 km 南北：0.6 km 面積：35 ha		天竜川の河口に発達した砂丘で、砂丘独特の起伏や風紋も見られる。 東京から近いこともあり映画のロケによく利用される。

<p>鳥取砂丘 (鳥取県)</p>	<p>東西：16 km 南北：2.4 km 面積：500ha</p>	 <p>昭和30年：国定公園指定 昭和38年：国立公園指定 平成20年：日本ジオパーク指定 平成22年：世界ジオパーク指定</p>	<p>千代川の河口に発達した砂丘で、東西南北の長さの比率がバランスよくコンパクトな砂丘でありながら、起伏に富み「馬の背」と呼ばれる砂山は標高47mと圧倒する風景である。 観光地として高く評価されている理由である。</p>
<p>吹上浜砂丘 (鹿児島県)</p>	<p>長さ：47 km 幅：0.5～2.6 km 面積：900ha</p>		<p>薩摩半島の西岸・東シナ海に面して長く発達した砂丘。 砂像イベントの歴史は古く昭和62年（1987年）から開催され長い歴史を誇る。</p>

参考：面積比較でよく使われる「東京ドーム」の面積が4.7haですからそれぞれの砂丘の広さが分かります。

参考：砂丘の呼び方は現在では「砂丘」で統一されているが、記録によれば時代とともに変化している。

時代	呼び方	文献・記録
江戸時代（1661年頃）	砂山 すな山	江戸時代・漢文年間に書かれた「鳥取城下古絵図」
江戸時代（1688年頃）	砂山 すな山 高すな山 高浜 砂原 浜	小泉友賢「因幡民談記」
江戸時代（1795年頃）	砂漠 沙漠	安部共庵「因幡誌」
明治時代（1893年頃）	砂丘	中等教育新編地文学全 これ以降は「砂丘」に統一されていく。